

大阪スマートシティ戦略 『次世代型スマートシティOSAKA』(案) の概要

スマートシティ戦略はネクストステージへ



環境の変化

- ◆ テクノロジーの進化
- ◆ 社会課題の多様化

ネクストステージ

Ver.1.0/ver.2.0の取組成果

急速に変化する環境への適応

『次世代型スマートシティOSAKA』(案) の基本方針

これまでの取組実績を基盤として、AIをはじめとするデジタル技術の飛躍的進化を踏まえ、人口減少や超高齢化など多様化・加速化する社会課題に対応し、万博後の未来社会を実現するため、目標年次を2030年とする『次世代型スマートシティOSAKA』実現をめざす。

【1】住民QOLの向上



最先端技術を暮らしに実装し、大阪に住む、訪れる人々が、豊かな暮らしや、便利なサービスを享受できるウェルビーイングな社会を創る

【2】都市競争力の強化



万博レガシーを受け継ぎ、副首都に相応しい都市機能を備えるため、AIなど最先端技術を活用し、産業創出力や行政効率に優れ、新サービスを次々と生み出す都市を創る

AIとデータを活かし、産業と暮らしが共に豊かに発展する次世代型スマートシティ



住民QOLの向上

① 健康で豊かな暮らしできる“いのち輝く未来社会”

② 誰もが安全で安心な暮らしできる“セーフティ社会”

③ 行政サービスが便利な“住民ファースト社会”

共創による次世代型スマート社会への加速

既存の共創

新たな共創

OSPF (産官連携)

GovTech大阪 (市町村連携)

自治体データ連携基盤共用化研究会 (都道府県連携)

大阪府行政AIエージェントコンソーシアム (産官連携)

大阪デジタルインフラ推進協議会 [仮称] (産官連携)

住民参加のための合意形成研究会 (官連携)

都市競争力の強化

④ AIとデータの最大活用による次世代デジタルサービスの展開

⑤ 次世代デジタル産業・サービスの発展に向けたデジタルインフラの充実

⑥ 持続可能なデジタル社会を支えるレジリエンスの強化

データ利活用

データ連携基盤

スマートシティ

AI戦略

デジタルインフラ

基本方針に基づく取組 (方向性・例)

府市が連携して“AIとデータを活かし産業と暮らしが共に豊かに発展する次世代型スマートシティ”を実現

【1】住民QOLの向上

① 健康で豊かな“いのち輝く未来社会”

《取組例》

- スマートヘルス／PHR
- 福祉分野の取組【介護テクノロジー導入支援、子育て応援等】
- 健康分野の取組【介育症対策、データハーモニゼーション等】
- 農業分野の取組【農業DXの推進等】
- 教育分野の取組【プログラミングコンテスト、AI活用環境整備等】

② 誰もが安全で安心な暮らしできる“セーフティ社会”

《取組例》

- 災害における避難所運営の効率化
- おおかくニバーアルデザインマップ
- ビッグデータ活用した洪滞対策
- 南河内新モビリティプロジェクト
- AIを活用した労働相談体制の強化

③ 行政サービスが便利な“住民ファースト社会”

《取組例》

- AIレジエントによる行政手続
- my door OSAKA
- 公金収納事務のキャッシュレス化

府庁・市町村のDXやスマートシティ事業の強化等を通じ、府民や企業への行政サービスの高度化、住民QOL及び利便性の向上

《取組例》許認可・立入検査／指導監査等業務DXプラットフォーム

【2】都市競争力の強化

④ AIとデータの最大活用による次世代デジタルサービスの展開

《取組例》

- Open Data Platform in Osaka (ODPO)
- オープンデータの見える化【デジタルMAP、ダッシュボード】
- OSAKAデータマイバーショナボ (OIDL)
- AI行政サービスの展開【観光に関するレンドンド、労働相談(再掲)等】
- AI産業・サービス及び次世代都市型産業・サービスの展開

⑤ 次世代デジタルサービスの発展に向けたデジタルインフラの充実

《取組例》

- 大阪デジタルインフラ推進協議会 [仮称]
- テーベンターエンジニアリング (郊外DC、都市型DC等)
- 通信インフラ強化 (無線基地局、光通信網、IX等)
- 電力インフラ最適化 (送配電、GX等)

⑥ 持続可能なデジタル社会を支えるレジリエンスの強化

《取組例》

- ORDENガバナンスボード懇親会
- サイバーセキュリティ (SOC整備の検討等)
- デジタル専門人材 (獲得、育成)
- 首都機能バックアップ (システム面)

【3】共創による次世代型スマート社会への加速

《取組例》

- 大阪市町村スマートシティ推進連絡会議 (GovTech大阪)
- 自治体データ連携基盤共用化研究会
- スーパーシティ型国家戦略特区 ※再掲
- 南河内新モビリティプロジェクト ※再掲

⑧ 国・自治体共創によるスマート社会への加速

《取組例》

- 大阪市町村スマートシティ推進連絡会議 (GovTech大阪)
- 自治体データ連携基盤共用化研究会
- スーパーシティ型国家戦略特区 ※再掲
- 南河内新モビリティプロジェクト ※再掲

⑨ 住民との共創 (住民参加) によるスマート社会の実現

《取組例》

- デジタル民主主義・合意形成研究会
- オープンデータの見える化【デジタルMAP、ダッシュボード】※再掲
- OSAKAキッズプログラミングコンテスト ※再掲

【1】住民QOLの向上

● 大阪市で生活、経済活動を行う多様な人々が、健康で豊かに（いのち輝く未来社会）、安全・安心に（セーフティ社会）、便利に（住民ファースト社会）、暮らせるまちをめざす。

例

- デジタル技術の活用によるライフステージに応じた子育て・教育・福祉などの行政サービスのスタイルの変革
- AI・ビッグデータ等を活用した公共施設の機能維持・向上
- デジタル技術を活用した防災・減災のための対策

【2】都市競争力の強化

● 市民・企業・来訪者へ新たな価値・サービスを提供できるよう、都市機能の高度化をめざす。

● データセンター等デジタルインフラの整備を促進し、AI・データを最大限活用したまちづくりを進める。

例

- 庁内業務のプロセス最適化による業務の生産性・効率性の向上
- GXの推進による持続可能な社会への取組
- ビッグデータを活用したデータ駆動型のまちづくりの推進
- 自動運転バスの社会実装に向けた官民の取組

【3】共創による次世代型スマート社会への加速

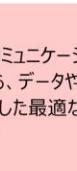
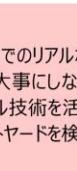
● 地域が主体となり、行政とともに、地域の活性化に取り組む。

● 産学官の連携により、社会課題の解決やイノベーションの創出に取り組む。

例

- 地域が主体となって進めるまちづくりをデジタルでサポート
- オープンデータの充実による事業者等のデータ活用の推進
- 地元の大学・研究機関・事業者等との連携

これまでの取組実績を踏まえた大阪市DX戦略の3つの視点による今後の取組の方向性



都市・インフラ分野での生産性向上に向け、建設生産プロセスDXを推進し、データ駆動型でマネジメントする都市である“データインフラ都市おおさか”をめざす取組を推進

行政DX

制度横断的に検討する仕組みをつくり、全関係職員が全体最適を見据えた共通認識をもちながら、職員の生産性向上につながる取組を推進